



日本共産党平塚市議会議員団

電話 0463-23-1111 (内線 2375)

平塚市浅間町9-1 平塚市議会控室

No. 1335 2015年11月29日発行

日本共産党平塚市議会議員団

団長 高山和義

電話・fax 31-4638

k.takayama@mb.scn-net.ne.jp

渡辺敏光

電話・fax 31-6431

w-toshi@agate.plala.or.jp

松本敏子

電話・fax 59-4607

mail@matsumoto-toshiko.jp

日本共産党議員団の法律相談

今回は12月17日(木)です  
午後4時～6時 (要予約)

## 平塚市12月定例会市議会の日程について

平塚市議会の12月定例会の日程が以下のように決定されましたのでお知らせいたします。ぜひ傍聴においでください。

月日	曜日	会議予定
11月25日	水	本会議初日(決算討論・表決及び上程議案の提案説明) 議会運営委員会
12月4日	金	本会議第2日(総括質問①) ※請願締め切り
7日	月	本会議第3日(総括質問②)
8日	火	本会議第4日(総括質問③) 議会運営委員会
9日	水	本会議第5日(総括質問④)
11日	金	総務経済常任委員会 都市建設常任委員会
14日	月	教育民政常任委員会 環境厚生常任委員会
18日	金	議会運営委員会 本会議最終日(委員長報告、討論、表決) 本会議後、議会活性化委員会及び議会報編集委員会

※日本共産党平塚市議会議員団の総括質問は、7日(月)に松本敏子議員が、8日(火)に渡辺敏光議員が行う予定です。質問項目等の詳細は次号でお知らせします。

※請願の締め切りは、本会議2日目12月4日(金)です。提出される団体・個人の方は午後5時までに市庁舎8階の議会事務局にお持ちください。

## 12月市議会定例会提出議案

11月17日(火)に議会運営委員会が開催され、平塚市12月定例会市議会の議案が提案されました。12月定例会では、11月25日の本会議初日に、10月に決算特別委員会で審議された平成26年度の平塚市一般会計・特別会計決算及び平成26年度平塚市病院事業会計決算についての討論・表決が行われ下記議案を含め19案件が提案される予定です。

○議案第91号 平塚市行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する条例の一部を改正する条例

番号法施行に伴い関係する条例の条文を改定するものです。

例;保険料の徴収⇒保険事業の実施

○議案第92号 議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例

共済年金と厚生年金の一元化に伴い、地方公務員災害補償法施行令の条文を改定するとともに給付の額の改定を行うものです。傷病補償年金、障害補償年金、遺族補償年金、休業補償が含まれます。

○議案第93号 平塚市市税条例の一部を改正する条例

① 市税に係る納税者の負担軽減を図るため 納税者の申告の基づく換価(差押え等の滞納処分)の猶予制度の創設や徴収の猶予の見直しをするものです。

② 番号法施行に伴い 地方税分野の減免等の申請書に個人番号及び法人番号の記載を規定するものです。

○議案第94号 平塚市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例及び平塚市家庭的保育事業等の設備運営に関する基準を定める条例一部を改正する条例

国家戦略特別区域限定保育士の資格が設けられたことに伴う規定の整備です。

○議案第95号 平塚市保育所設置条例の一部を改正する条例

平塚市立金田保育園の廃園・民営化に伴い、市立保育園一覧から同園を削除するものです。

○議案第96号 平塚市廃棄物の減量化、資源化及び適正処理等に関する物の処理に関する条例の一部を改正する条例

一般廃棄物の処理手数料の改定(動物の死体処理含む)及び受け入れ拒否の範囲の変更、事業者許可証の再発行手数料の新設等をするものです。

○議案第99号～議案第103号 指定管理者の指定について

次の5施設の指定管理者を指定するために議会の議決を求めるものです。

① 平塚栗原ホーム

指定管理者;平塚栗原ホーム管理運営協働事業体  
指定期間;平成28年4月1日～平成33年3月31日

② 平塚市袖ヶ浜デイサービスセンター

指定管理者;社会福祉法人恩賜財団済生会支部神奈川県済生会  
指定期間;平成28年4月1日～平成33年3月31日

③ 花水小学校区放課後児童クラブ

指定管理者;なかよしフレンド学童保育会  
指定期間;平成28年4月1日～平成33年3月31日

④ 旭小学校区放課後児童クラブ

指定管理者;旭学童保育会  
指定期間;平成28年4月1日～平成33年3月31日

⑤ 馬入ふれあい公園

指定管理者;日産クリエイティブサービス・湘南ベルマーレSC共同事業体  
指定期間;平成28年4月1日～平成33年3月31日

# 決算特別委員会での質問と答弁の要旨 その①市民病院編

◎平塚市病院事業会計決算について  
経営計画の1「患者の視点に立った医療の提供」について

## 入院センターは未収対策でなく患者さんへのサービスの向上に

【問】「総合診療科外来の開設」「入院受付センターの設置」「新入院セットの導入」したが、患者へのサービス向上の効果は。

【答弁】新棟の整備事業に伴って、もともと正面玄関だった所が閉鎖された空きスペースを利用して入院患者の集中受付センターとした。入院生活に関するオリエンテーションを一元的に行う部署としてとらえている。もともと未収金のある患者が再度入院されたときに、前の未収金の相談に乗る、また保険の話などを一元的に行っている。

【問】入院受付センターについて、入院受付時に費用の提示することは入院費用の徴収・未収金対策ではないのか。

【答弁】各診療科で個々に説明していたのを一元化するのが目的である。未収金や分納等の相談も乗るが副次的なものである。

## 個室利用は患者の希望と納得の上で

【問】室料差額について、一般病床利用率81.7%だが個室Aは94.6%個室Bは95.9%である。一般病床より利用率が高いが、病院が個室利用を進めることはなかったのか。患者への丁寧な説明と十分な納得はされたのか。

【答弁】患者に対して個室を斡旋・誘導することは一切ない。患者が希望しない場合でも個室に収容することはあるが、その場合には病院側の措置ということで差額室料は減免している。



【問】新入院セットは職員の負担軽減につながったとされているが、手当が増加しているのはなぜか。また、残業手当は削減されたのか。

【答弁】高機能おむつなど新入院セットの導入で夜間のおむつ換え回数が減ることで患者も安眠でき、スタッフの負担も軽減できた。業者が入院患者まで配送することで生費削減にもなっている。利用患者は開始当初20人ほどが半年で130人まで増えた。

時間外手当は330万円削減したが、手当との関連はなかなか掴みづらい。職員自体も29人増加している。

## 経営計画の2「安全で信頼される急性期医療提供」

### 医療機器の整備は市民の命を守るため

【問】安全で信頼される医療を提供するには、高度な機器と信頼できる医師が必要。経営が厳しい中でも医師の人数を増やしてきたことをどう考えているのか。

【答弁】計画的に人員配置を進めてきたがそれに見合った収入がついてこなかった。老朽化した医療機器を新しい機器に入れ替えることで、スタッフも使い勝手がよく、患者も短時間で治療を受けられるというメリットがある。計画的に医療機器等を入れ替えることは重要である。

## 経営計画の3「地域に根差した医療の展開」 いざとなったら市民病院、地域の診療所からも信頼される市民病院に

【問】病診連携で紹介・逆紹介の状況と市民病院にとってのプラス面・マイナス面とは何か。

【答弁】地域医療支援拠点病院として、まさに病診連携を取り組んでいる。紹介、逆紹介の関係を強化している。県指定の病院として診療報酬の加算がある。

【問】公衆衛生分野での公立病院の役割は。出生率はほとんど変わっていないが、市民病院の分娩人数が4年間で約100人も減少している。どう見ているのか。

【答弁】市内や近隣に良い食事を出す開業医があり伸び悩んでいる。近隣施設の中ではリスクの高い分娩を扱っている。

【問】妊婦健診補助金3,000円で健診が賄えているのか。

【答弁】補助金額内で賄えている。

## 経営計画の4「病院経営の健全性の向上」 消費税増税が市民病院の経営を圧迫

【問】消費税が3%引き上げられ医業外費用が約1億円増加している。消費税増税で最も影響を受けるのが公立病院ではないか。

【答弁】消費税負担分は患者の診療報酬に入れ込んでいる。大きな設備投資をする大病院には不利な仕組みで、当院的にはしんどいと思っている。

## DPC診療にこだわらない市民目線の診療を

【問】H26年度は新規患者数も減少し、病床利用率の低下に収益減になっている。DPC診療にこだわるのが市民にとって市民病院の経営にとって良いことなのか。

【答弁】指摘の通り、患者が無限でなく有限の状況では占床率が下がり、診療報酬的には厳しい状態になる。新規の患者を増やす方向で在院日数はほどほどで患者を増やしていく。

## ちょっとブレイク



11月10日に市役所ロビーで開催された「昼休みミニコンサート」今回は市職員有志によるクラシック演奏です。最後は「あな雪」も。次回は年明けの予定です。多くの市民・職員が聞き入っていました。

土屋座禅橋架け換えの跡地を利用した「ざる菊園」。地域の愛好会や公民館利用者団体、小学校児童が大切に育てています。

色とりどりに咲いている「ざる菊」に思わずカメラを向けました。

